平成１７年１２月期　第１四半期財務・業績の概況（連結）

平成１７年４月２５日

会　社　名　ニスカ株式会社　　（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：６４１５）
（ＵＲＬ　http://www.nisca.co.jp）
代　表　者　役　職　名　代表取締役社長
　　氏　　名　中里　賢次
問い合わせ先　責任者役職名　理事 管理部長
　　氏　　名　宇津　秀昭　　(Tel：(0556)22－6600(代表))

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 ： 有

(内容)

一部の連結子会社は、税効果会計に簡便法を適用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 ： 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無： 無

２．平成１７年１２月期第１四半期財務・業績の概況（平成１７年１月１日 ～ 平成１７年３月３１日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況　　（注）記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%
17年12月期第１四半期	10,976　(7.4)	948　(0.1)	1,067　(8.5)	621 (　7.0)
16年12月期第１四半期	10,221　(12.9)	947　(3.5)	984　(1.9)	581 (△35.4)
(参考)16年12月期	44,929	4,085	4,146	2,758

	１株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益
	円　　銭	円　　銭
17年12月期第１四半期	60　　55	―
16年12月期第１四半期	56　　59	―
(参考)16年12月期	263　　78	―

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当第１四半期における我が国の経済は、堅調な設備投資に加え雇用情勢にも改善が見られましたが、原油や鋼材などの原材料価格が上昇する中、輸出の鈍化やＩＴ関連製品の生産調整などにより、景気は踊り場を脱しきれない状況で推移いたしました。

当社グループ関連市場におきましては、複写機ではカラー化、多機能化が更に進み、ビデオカメラやデジタルカメラでは熾烈な販売競争が展開され、製品価格の下落が続きました。

このような環境の中、積極的に営業活動を展開いたしました結果、光学計測機器関連事業では売上が減少いたしましたが、ＯＡ機器関連事業ではペーパーハンドリング事業及びスキャナ事業が伸長し、当第１四半期の売上高は１０９億７千６百万円（前年同期比７．４％増）となりました。

一方、利益面につきましては、利益確保のために原価低減活動を一段と進めましたが原材料価格上昇や販売価格低下の影響により、当第１四半期の営業利益は９億４千８百万円（前年同期比０．１％増）、為替差益の計上により経常利益は１０億６千７百万円（前年同期比８．５％増）、純利益は６億２千１百万円（前年同期比７．０％増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① ＯＡ機器関連事業

ペーパーハンドリング事業では、製品価格の低下により自動原稿送り装置の売上が減少いたしましたが、オフィスでの省力化やオンデマンドプリンティングへのニーズ拡大により、カラー機を中心にフィニッシャの装着率が増加し、中綴じフィニッシャなどが売上を伸ばしました。

スキャナ事業では、ＭＦＰの需要が引き続き拡大する中、当社の技術力を結集した高速印刷や高解像度に対応できる機能的な製品が顧客より好評を博し、Ａ３判カラースキャナがシリーズ展開されるとともに、ＭＦＰ用Ａ４判カラースキャナの販売も好調に推移いたしました。

プリンタ事業では、前年１０月に発表した非接触ＩＣカードに対応したカードプリンタ「ＰＲ５３５０」が市場に徐々に認知され始めましたが、オフィス用途のラベル専用プリンタの売上は減少いたしました。